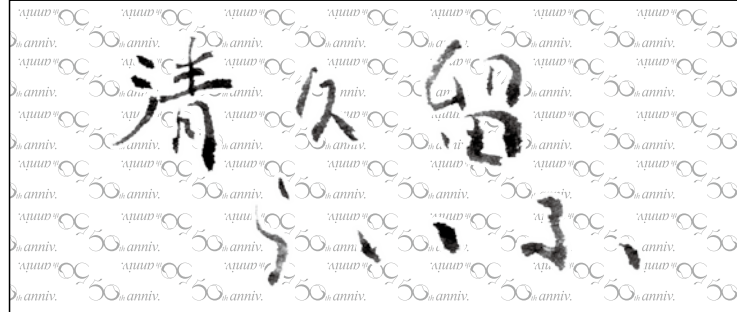



KIYOKURU俳句と川柳 募集始まりました!

応募者全員に500円分のクオカードをプレゼント。締切は8月31日です。応募はお早めに!



発行所
東京土建一般労働組合
清瀬久留米支部教育宣伝部
 〒203-0054 東久留米市中央町5-10-17
 TEL 042-473-8751
 FAX 042-473-8753
 発行者 尾 芦 富 雄 道
 編集者 村 井 瑛 道



予算要求集会 猛暑に負けず

6月29日(水)、この2年間で建設国保への補助金確保を求める予算要求集会が行われました。午前中は都庁第二庁舎前で都野要請、午後は日比谷公園野外音楽堂で集会を行い、支部からは計12人が参加しました。当日は35度を超える猛暑となりましたが、暑さにも負けず、補助金確保に向けて日本各地の建設組合と団結の思いを共有しました。参加された方からの報告です。

公共工事の設計労務単価はこの10年で5割上昇したが、仲間の賃金単価の引き上げはまだまだ不十分だ。賃金単価の引き上げに全力で戦おう。

建設産業にも若者の入職と定着しやすい環境を作っていく。

「命の綱」建設国保の育成・強化は譲れない要求だ。来年10月から始まる予定の消費税インボイス制度の見直しを、などの報告がありました。



新型コロナの影響もあって、数年ぶりに参加しました。清瀬久留米支部の参加は12名と予定より少なめでした。都連主催の午前中の対都行動では、工事のため長年使えなかった都庁舎の地下通路がやっと使用でき

午後には都庁から日比谷野外音楽堂へ移動、「全建連6・29賃金・単価引き上げ、予算要求中央総決起大会」に参加しました。司会者から水分補給など熱中症に充分気を付けるようにとの報告と、大会後の恒例のデモ行進は中止の連絡がありました。始めに国交省・厚労省・財務省などへ交渉団を送り出し、来賓各政党からの挨拶、基調報告と大会が進められました。

長引くコロナ禍とロシアによるウクライナ戦争、さらに政府の円安政策も加わり、受注減少、建設資材の価格高騰、納期の遅れなどが中小零細の建設業者を苦しめている。早急な支援が求められる。



5月14日にアスベスト建材メーカー訴訟東京原告団結成総会が開かれ、20日には建設アスベスト訴訟の全面解決をめざす全国総決起集会が日比谷野音で開催されました。集会には1陣

原告、新訴訟原告の仲間も含めて支部から16人が参加し、給付金法施行の大きな前進を確信とすること、建材メーカーが参加する補償基金制度実現への決意を確認しました。

そして6月7日、全国10の地方裁判所で建材企業に対して一斉提訴をしました。提訴したのは原告数で190人(東京土建は39人)、支部の仲間と遺族2人が原告として参加しました。東京地裁前で集会を開催し、入廷する原告の仲間を送り出しました。中村首都圏建設アスベスト訴訟統

一本部長(東京土建委員長)は「ニチアスを始めとする建材メーカーは被害者の早期救済に踏み出そう」といばかりか裁判の引き延ばしをくわだて、不当な対応を続けている。建材企業のアスベスト被害への責任は国以上に重い。今回の訴訟は、建材企業に対しては真摯な謝罪、訴訟の早期解決、すべての被害者を全面的に救済する制度への参加を決定させること、被害の全面救済を広く世論に訴える意義を有している。原告、弁護団、支援団体は団結を固め、奮闘しよう」とあい

書記局 砂川 恵

「命の綱」建設国保の育成・強化は譲れない要求だ。来年10月から始まる予定の消費税インボイス制度の見直しを、などの報告がありました。

今回の集会参加のほとんどがシニア世代(支部の現役は1名)でした。毎日の仕事で忙しいですが、もう少し若い組合員の参加が欲しかったところです。猛暑の中参加した皆さんお疲れさまでした。

元塩分会 石垣 雅之

6月14日に行われた「国民を分断する制度は中止をくらしと仕事を壊すな! 下げろ消費税、インボイスは中止」の集会。政党からのあいさつに続いて、消費税、インボイス制度に反対する諸団体から「インボイス制度を考えるフリーランスの会からは、「インボイス制度は国民を分断する分野が結束することが大切。」と力の籠った訴えがありました。

集会の決意表明は神奈川県連が行いました。「来年10月から導入が予定されて

いるインボイス制度は免税事業者に課税選択を強いるだけではなく、課税事業者の税負担も増える制度。来る参議院選挙でインボイス中止と消費税減税の審判を下しましょう。」と決意が表明されました。

支部ではYouTubeチャンネルを開設し、税金に関する耳より情報を動画配信しています。動画検索はYouTube「きよくるチャンネル」から! QRコードは

税金経営対策部 担当書記 本島 厚司



「下げろ消費税 インボイスは中止・延期だ」

支部ではYouTubeチャンネルを開設し、税金に関する耳より情報を動画配信しています。動画検索はYouTube「きよくるチャンネル」から! QRコードは



YouTubeチャンネル

一緒に役員として活動できる方大募集



ことし3月におこなわれた味噌づくりの様子

日頃より主婦の会カトレアの活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます

カトレアは一年を通して楽しいイベントや地域貢献活動、平和への取り組みを行っています

活動、平和への取り組みを行っています。活動に少しでも興味がある方は気軽にお声掛けください。

こんなことやっています

- 味噌づくりやもちつきなど、レクリ

主婦の会カトレア担当書記

本島 厚司



人間らしい生き方を守っていくために

6月20日(月)、社会保障学習決起集会がウェブ形式で行われました。「憲法25条と社会保障」をテーマに、コロナ禍の今を生きる生活困窮層のリアルについて講演が行われました。参加者は、非正規雇用の人々が立場の弱さから生活もままならないほど追い込まれていること、本来あるべき生活保護などのセーフティネットが自治体ごとに大きな差があることなど、生活保護の申請に立ち会ってきた講演者の生の証言に耳を傾けていました。

以下、参加者からの感想です。

「人間らしい生き方」を守っていくために、組合員・

南町分会 早津 輝吉

守っていくために、組合員・

エーシヨンの企画・立案・運営

SDGs 活動や地域貢献の取り組みへの参加

東京土建本部主婦の会と連携した取り組みに参加

毎月開催する役員会への参加

正規の人たちだけでなく、非正規の人たちも安心して働ける社会保障を確立できれば、今日のような話の内容がなくなると思う。何と言っても、政治を変えなければならぬ。

滝山分会 秋元 進一

本日の学習決起集会を聞き、思った以上に社内には多くの困窮者がいるとは、驚きでした。おかげ様で私のまわりでは見かけませんが、行政(政府)はせめて軍事費の1%でもいいですから福祉に支援すればよいかと思います。

青空分会 笹下 達也

KIYOKURUの寅さん

さまざまなイベントで奮闘する若手組合員の姿に、私の愛するフーテの寅さんを思い出します。昭和から平成にかけて、毎年盆と正月に公開された「男はつらいよ」は、変わりゆく時代のなかで変わらぬ日本人の人情を描いて、国民的映画となった。四半世紀ぶりの「お帰り寅さん」の新作完成の舞台挨拶で、山田洋次監督が語っていた。「あの頃の日本人は元気だった。人間が精神的に自由であることがいかに素晴らしいことなのか。いま重く停滞したこの国に生きる僕たちは、もう一度寅さんに会いたい。」

あつた。東京土建の支部の中で、KIYOKURUはきわめて個性的な支部である。個性的といえれば聞こえがいいが、まるで車寅次郎のごとく無鉄砲である。東京土建の命とも言うべき「拡大」の言葉を使うことをやめたのだ。数値目標を設定して数を追求する拡大ではなく、仲間のつながりを広げて組合員を増やすという。本部は「アツと驚く為五郎」だった。



西武バスに支部の広告を掲載中!

支部では、西武バス滝山営業所発着の5台に後部広告を出しています。見かけた人はラッキーかも? ぜひ探してみてください!

流しそうめん交流会が帰ってきます

夏の恒例イベントが帰ってきます! コロナ対策を取って、ご家族で楽しめる内容になっています。申し込みはお早めに。

[と き] 8月21日(日)10時30分から
[ところ] コミュニティプラザひまわり中庭にて実施

[参加費] 1,000円 ※中学生以下無料
[申し込み] 群会議配布のチラシ、または支部公式LINEから申し込んで下さい。LINE申し込みの方法は支部HPにも記載しています。

だ。今年、東京土建の日を再開するというところで、4月23日の第一回実行委員会に多くの若者が集まった。祭り好きで自由奔放な意見を交わす若者の発想と行動力に、またフーテの寅さんに思い出した。彼らには山田洋次監督のいう「野放図な発想や軽やかさ」がある。東京土建の日、新型コロナウイルスの感染や天候のこともあ

るから、奮闘努力の甲斐もなく、結果として期待通りだ。今年、東京土建の日を再開するというところで、4月23日の第一回実行委員会に多くの若者が集まった。祭り好きで自由奔放な意見を交わす若者の発想と行動力に、またフーテの寅さんに思い出した。彼らには山田洋次監督のいう「野放図な発想や軽やかさ」がある。成功にむけて、結束して取り組むことにこそ価値があるのだ。

三葉分会 坂内 三夫

湧水

コロナで呼吸も苦しく、心も苦しい。満足な補償もされず店をやる人々。命を守れなかった人々。我が家で「安倍のマスク」が袋のまま眠っている。いつまで続くか分からないコロナ禍、一日でも早く国民が豊かに暮らせることを祈る毎日だ。

南町分会 橋爪 保